

平成26年度

練馬区立光が丘第八小学校

【 生活科 】

	指導の配慮点 (授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導など)	観点別の授業改善の視点		
		関心・意欲・態度を 向上させるための手だて	思考・表現を 向上させるための手だて	気付きを 向上させるための手だて
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・(授業規律)チャイム着席、正しい姿勢、学習の準備ができるように、児童に繰り返し指導し、学習規律を確立する。 ・(教材提示)カラーコピー、ビデオ、本、実物など、児童の気持ちをひきつけるような効果的な教材の提示を工夫する。 ・(板書)本時の単元名とねらいを板書し、課題をつかませる。また、前時までの学習を振り返える。 ・(発問)身の回りの身近な話から広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近な話題から導入する。(5分程度) ・視覚教材の工夫をする。 ・児童が疑問を抱いたり、興味もてるような教材の提示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の中で、体験していることを結びつけて考えられるようにする。 ・活動のめあてや計画などをカードに書き、見通しが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の仕方がいつでもわかるよう、画用紙にまとめ、掲示しておく。 ・気づきを本人だけのものにせず、グループ、クラスに広め、情報を共有することで、さらに活動を深まらせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・(板書)児童のカードと同じものの拡大図を用意する。 ・(ノート指導)課題に対する自分の予想を書くようにする。 ・(発問)児童の考えを引き出し、他の児童の考えと関連させられるような発問を工夫する。 ・(板書)記名されているマグネットシートを使い、誰のどんな考えかを明確にして、話し合いができるようにする。 ・(ノート指導)観察の仕方を確認する。 ・(授業規律)全員で時計を見ながら、観察時間を確認する。 ・(ノート指導)観察カードにまとめる際、想像で書くのではなく、五感を使って書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えのよさを認め、意見を発表しやすくする。 ・自分の考えを持って観察カードを記入している児童に対し、良い部分を赤ペンで印を付いたり、声かけをしたりして、個々の意欲を引き出す。 ・活動の目的、内容、まとめを明確にし、めあてをもって活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察して気付いたこと、感想、疑問などを観察カードにまとめる。 ・比較する力を付けるために差違点や共通点を意識させる。その際、自分の体や身の回りの物と直接比較させたり、今までの知識を生かして間接比較させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の視点として、色、形、大きさ、におい、音などに着目して、五感を使って観察が出来るように声をかける。 ・気づきを取り上げ、その気づきに対して、素晴らしさや大切さを知らせ、認める。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・(授業規律)教師の指示で、活動を止め、後片づけをする。 ・(板書)観察して、気付いたこと、感想、疑問などを発表し合い、黒板に分かりやすくまとめる。 ・(授業構成)本時の活動を振り返り、次時の見通しが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきを取り上げ、その気づきに対して、素晴らしさや大切さを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめられなかった児童に対し、予想と比べさせたり、友達の発表を聞き、どう思ったか書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを振り、自分の生活、体験と結びつけられるようにする。 ・気づきを本人だけにとどめず、情報を共有できるように、観察カードを掲示する。